

令和7年度 第2回市政モニター調査結果

1 アンケート内容

(1) アンケートテーマ

防災に関するアンケート(所管課:危機管理室)

(2) アンケート目的

防災対策などに関する御意見などを聞きし、これから市が防災・減災対策に取り組む上での参考資料として活用するため

(3) アンケート項目

23項目

- ・災害に対する意識について
- ・ハザードマップについて
- ・災害への備えについて
- ・防災活動について など

(4) アンケート対象

令和7年度市政モニター(211名)

(5) アンケート方法

姫路市オンライン手続ポータルサイトを活用

(6) アンケート期間

令和7年11月25日(火)から令和7年12月8日(月)まで

2 回答状況

(1) 有効回答数

161

(2) 回答率

76.3%

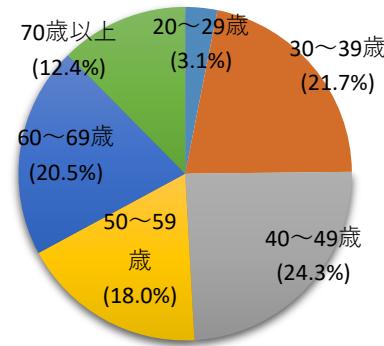
(3) 回答集計

次ページ以降のとおり

アンケート回答者の属性

年齢

20～29歳	5	(3.1%)
30～39歳	35	(21.7%)
40～49歳	39	(24.3%)
50～59歳	29	(18.0%)
60～69歳	33	(20.5%)
70歳以上	20	(12.4%)

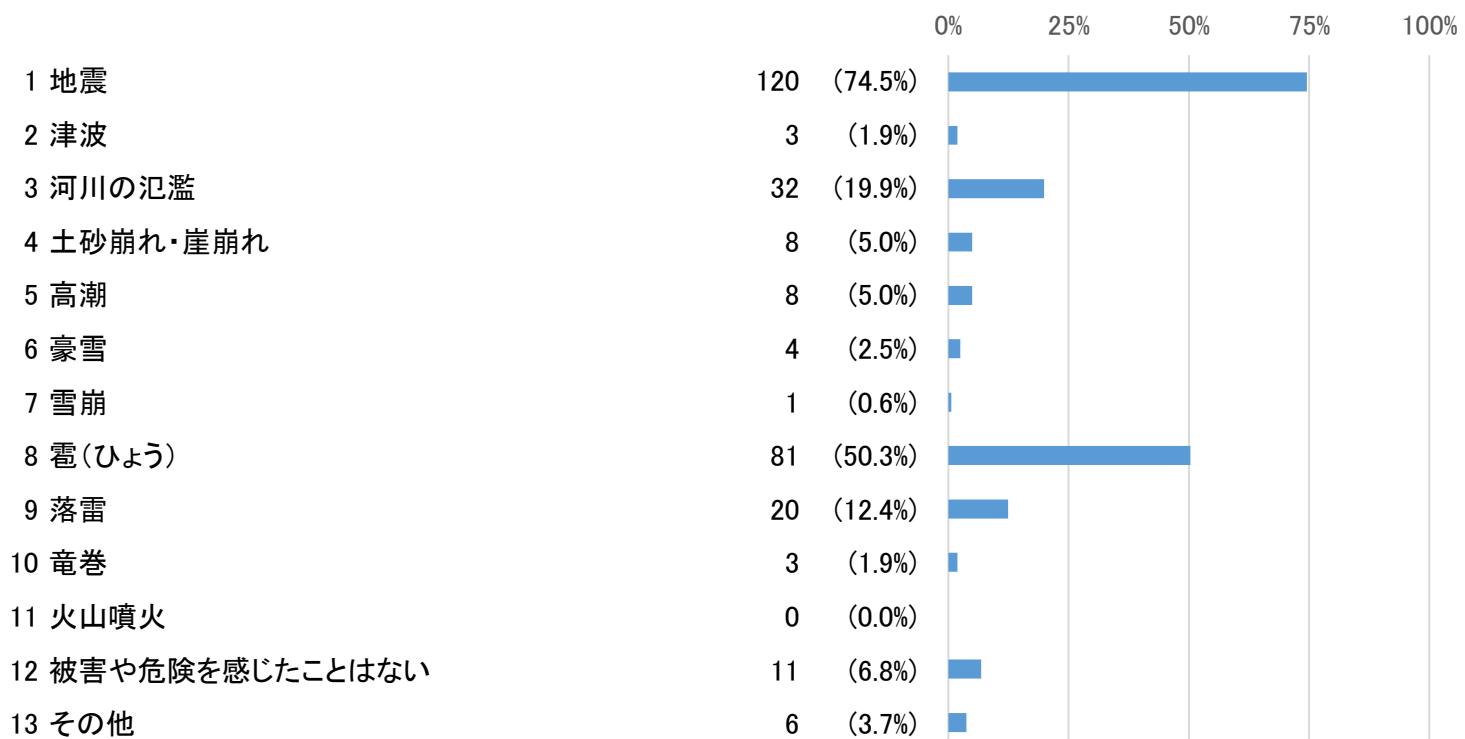


性別

男性	47	(29.2%)
女性	112	(69.6%)
その他	2	(1.2%)

質問1

今までに被害を受けたり、身近に危険を感じた災害は何ですか。(複数回答可)



・塩害、山火事、台風による瓦屋根の飛来、満潮時の大雨による鉄砲水、洪水

質問2

あなたの住んでいる地域が災害に対し安全だと感じていますか。それとも危険だと感じていますか。

1 安全

7 (4.3%)

2 ある程度安全

75 (46.6%)

3 どちらでもない

36 (22.4%)

4 ある程度危険

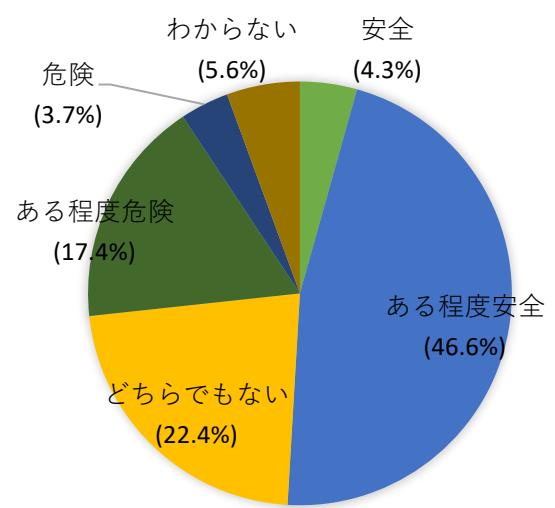
28 (17.4%)

5 危険

6 (3.7%)

6 わからない

9 (5.6%)



質問3

質問2で選んだ理由をご記入ください。

(主な意見)

○質問2で「1 安全」を選んだ方

- ・ 災害がない
- ・ 安全だと信じたいため
- ・ 立地から、安全であると判断している
- ・ 姫路城が残っているから
- ・ 生まれてから経験した被害が台風の被害程度であり、大丈夫だと思う。
- ・ 八丈岩山周辺は、地盤が硬く守られていると聞いたことがある。海も遠いし、住宅が密集している感じでもなく、消防車も入ってこれる位置なので。
- ・ 大きな被害が無い

○質問2で「2 ある程度安全」を選んだ方

- 今までそれほど大きな災害にあったことがない地域だから
- ハザードマップで安全な所に住んでいるので。
- 瀬戸内海の温暖な気候で、地域の災害対策も進んでいると思うから
- 家を建てる時に、災害にもある程度安全かと思われる場所を選んだつもりなので。
- 阪神淡路大震災の際は、当時から建て替えを検討されていた古い集合住宅に住んでいましたが、現在は耐震性を考慮した住宅に住んでおり、地域的にも危険な場所からは離れているためです。
- 山と川が近くに無い。万全では無いが播磨は比較的安全な地域と思われる。
- 海拔低地に住んでいるが防波堤に守られているので大きな浸水被害はないと思っている
- 大きな地震があった場合はわからないが、家が密集していない。道幅が広い地域である。自治会がしっかりとしている。町の中心に小学校、中学校、大きな公園があり避難できる広い場所があります。
- 居住マンションが新建築基準法施行以降に建てられたものであり立地が海拔十三メーター強あるので地震と津波による甚大な被害は避けられると思いたい。
- 洪水時もそれほど水深は深くならないので。また津波の影響もあまり及ばない地域なので。
- 街中だから
- 今まで 40年間居住して 災害に遭遇していないため。ただ、今後は河川の氾濫や地震などで危険を感じるかもれない恐怖は心の隅にある。
- 南海トラフ地震の津波到達時間が一時間程度あるから。ただ、河川氾濫の危険性はあるが、自宅はマンション三階なので大丈夫なのではと思っているから。
- あまり危険を感じることがないから
- 何か起きても目の前が避難所だから
- 少し高台
- 河川敷の拡張をしてあるとはいえ、大きな川がすぐ側にあるので。

○質問2で「3 どちらでもない」を選んだ方

- ハザードマップを見る限りある程度安全な気もしましたが、自然災害は何があるかわからないから
- 山が近いから
- 津波が来たら避難場所が学校だが海に近い為。また浸水など気になる
- 特に地震の対策が凄いわけでもなく、川も近くにあり大雨の時は氾濫の恐れがあるため。
- マンションに暮らしているから
- まだ大地震や津波がおきていないから
- 防潮堤の、水門点検、メンテ、運用に問題がないか心配。
- 災害のニュースを見ると、災害は他人ごとではないと思うから。
- 標高が低いから
- 避難場所は、比較的安全な場所にあると感じているが、観光客なども多い地域なので、収容人数や備蓄の量など災害のタイミングによって予測のつかない事態が起きるのではないかと不安に感じるため。
- 比較的、今まで大きな災害は起こっていないが最近の異常気象で何十年も災害が起こっていないところにも災害が起こっているので安全とも危険も、どちらでもないと思う
- 両隣が鉄筋のビルで頑丈かと思うが、火災は怖いです
- ハザードマップでは被害を受ける地域になっているから
- 姫路市は自然災害は少ない方だと思うが、油断出来ない。地球温暖化が進んでいるので。公害災害にも注意が必要。ピーファス(このアンケートは英語が使えないです。)など。
- 安全という思い込みが危険だから。
- 防災倉庫があるから

○質問2で「4 ある程度危険」を選んだ方

- ・自然災害は何があるかわからないから
- ・子どもが山の近くの小学校に通っており、山の土砂崩れに不安を感じるため。
- ・集合住宅の1階に住んでいるが、豪雨で周辺の河川が氾濫すると敷地から避難することができないため。
- ・海拔5メートルなので津波で浸水の恐れがあるから
- ・地域との接点が、自分自身にも薄いと感じている
- ・海拔が低く、周辺に高い建物がないので、津波や洪水が心配
- ・山が近いので土砂崩れ対策が出来ているのか気になるので
- ・近所に小川が沢山流れているため、豪雨の時の増水が心配である。
- ・山崎断層があるので
- ・海が近いのと既に浸水と雹被害に遭っている
- ・周りに大きな川があり、飾磨港も近いから
- ・揖保川の河口の為、豪雨等の時、水位が上がるためです。
- ・防災訓練などが適切に行えているとは思えないから。
- ・阪神・淡路大震災の起きた近隣
- ・床下浸水があった
- ・水害のおそれがある
- ・山を切り開いた住宅地なので危険
- ・防災無線が聞こえない

○質問2で「5 危険」を選んだ方

- ・山が近いので土砂崩れが気になるので
- ・自宅が川のすぐ側にあるから
- ・内水氾濫で道が沈んで自宅に出入り出来なくなったことがある。車が水没しかけた。
- ・海が近い
- ・台風、大雨の時、市川の氾濫がいつも心配

○質問2で「6 わからない」を選んだ方

- ・地域が安全かどうかはハッキリ言って分からず。地形的に見れば地震や竜巻等は発生しづらい所かと思います。このような地域もあって、災害への意識が弱い印象を感じます。想定もしていない時に起きる災害に茫然とする
- ・地域の災害対策を詳しく知らないので
- ・今の住所に引っ越してから災害を経験しておらず、イメージが難しいため
- ・未来にどのような災害が起こるか分からず
- ・改めて考えると、安全・危険といった判断はできないと思ったから
- ・大きな津波が発生した場合、おそらく川を遡行すると思うから
- ・避難所等のハザードマップがわからない。

質問4

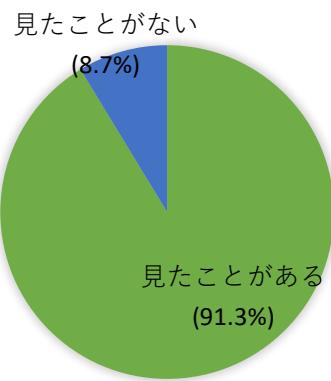
市が作成、配布しているハザードマップ(洪水、土砂等)を見たことがありますか。

1 見たことがある

147 (91.3%)

2 見たことがない

14 (8.7%)



質問5

質問5で「1 見たことがある」を回答された方に伺います。ハザードマップをどのように活用されていますか。(複数回答可)

1 災害リスクの確認

97 (60.2%)

2 避難計画の作成

24 (14.9%)

3 避難行動の確認

53 (32.9%)

4 指定緊急避難場所など、避難先の確認

83 (51.6%)

5 災害リスクに関する情報共有(町内会などの地域単位
や近隣住民同士等)

1 (0.6%)

6 町内会など、地域での防災学習や防災訓練

11 (6.8%)

7 勤務先での防災研修や防災訓練

3 (1.9%)

8 学校での防災学習(授業)や防災訓練

4 (2.5%)

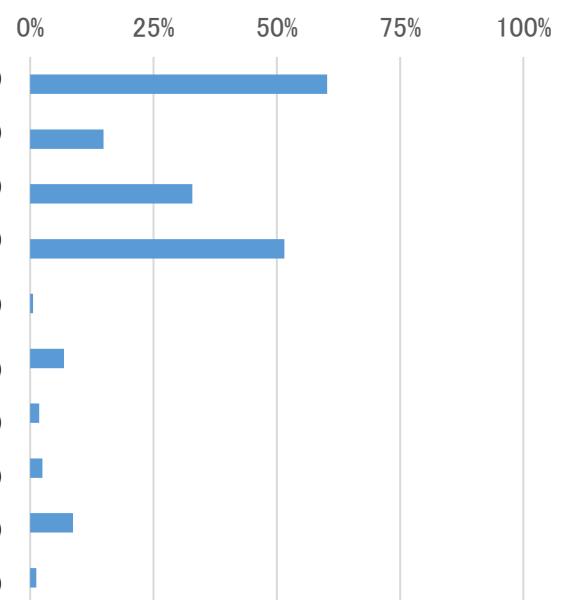
9 活用していない

14 (8.7%)

10 その他

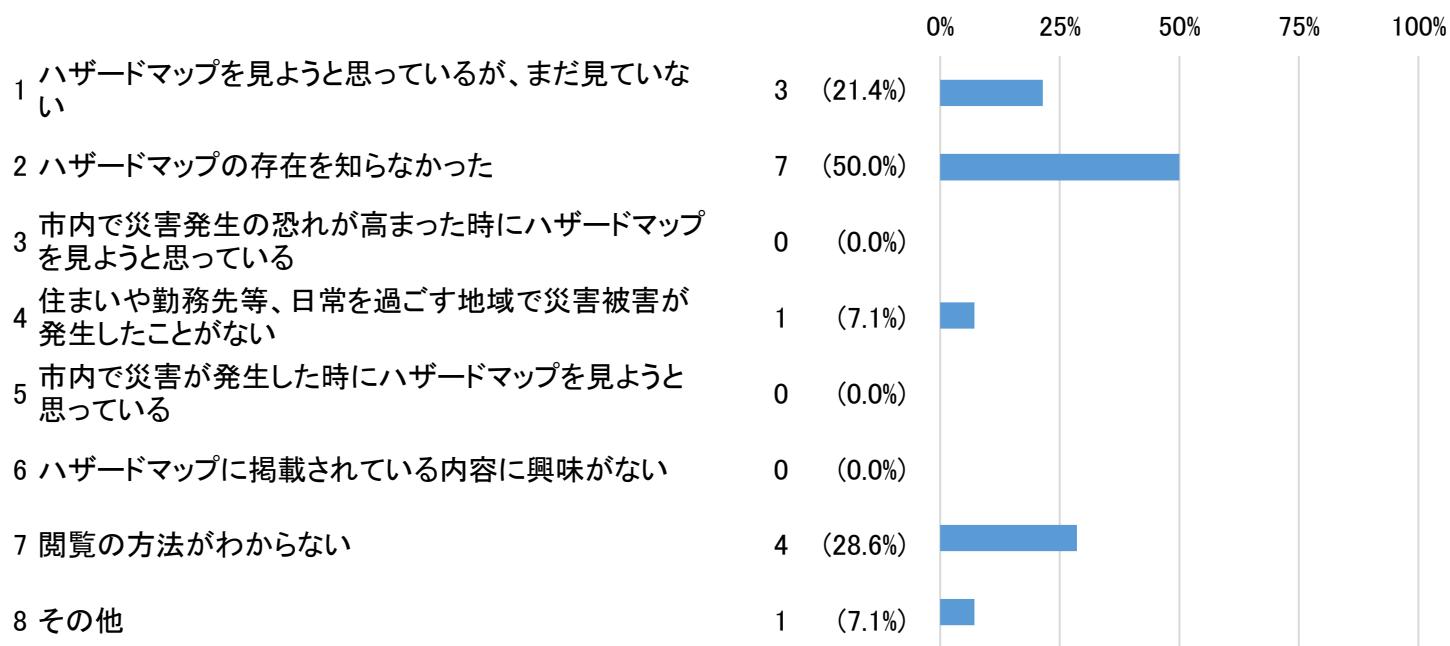
2 (1.2%)

・家を建てる時の参考にした



質問6

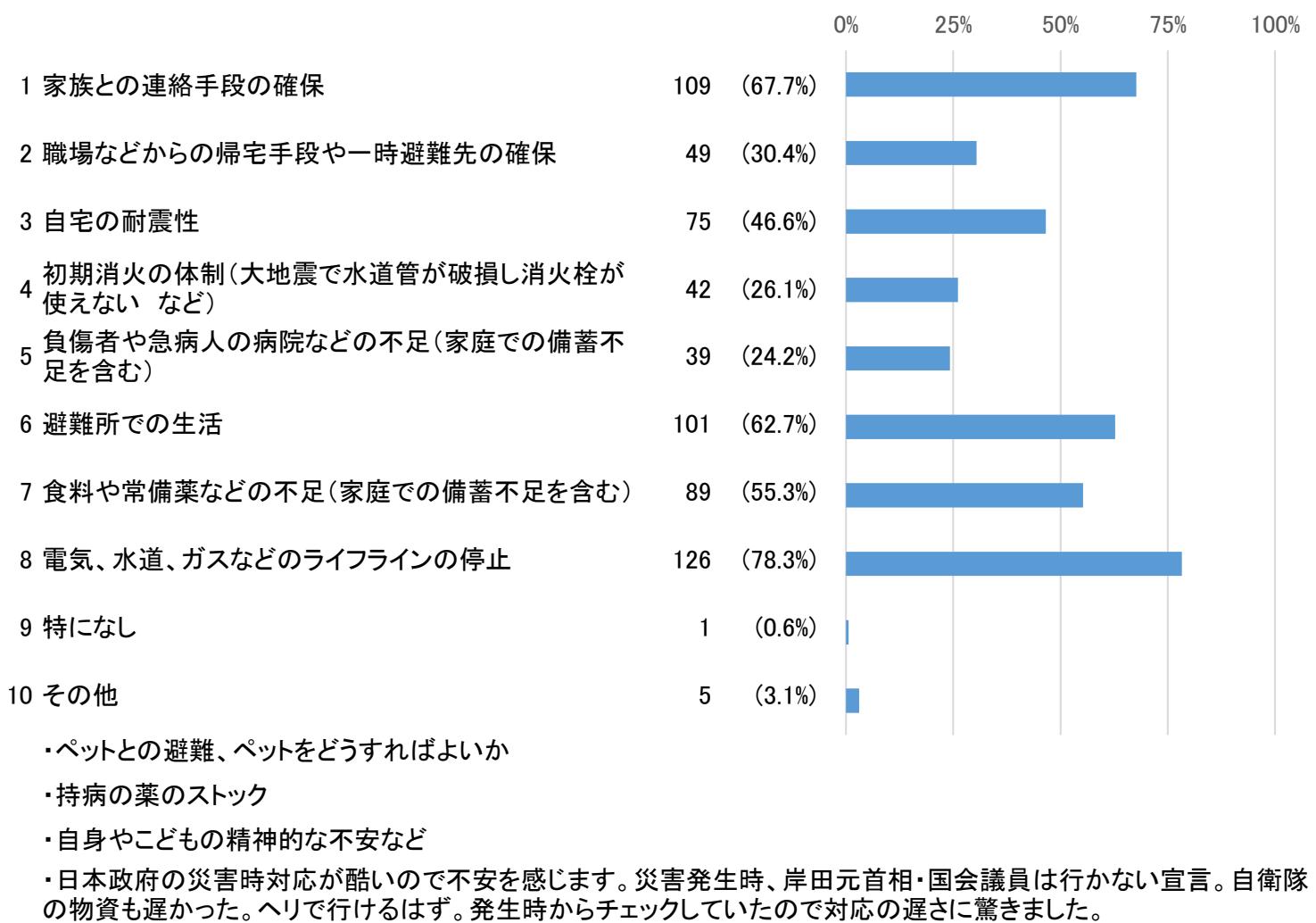
質問5で「2 見たことがない」を回答された方に伺います。ハザードマップを見たことがない理由は何ですか。(複数回答可)



・ハザードマップは市は作成し、各地域自治会等へ配布しますか？

質問7

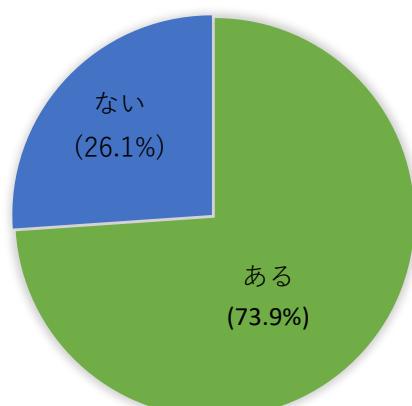
大規模な災害の発生に関して、どのようなことに不安に感じますか。(複数回答可)



質問8

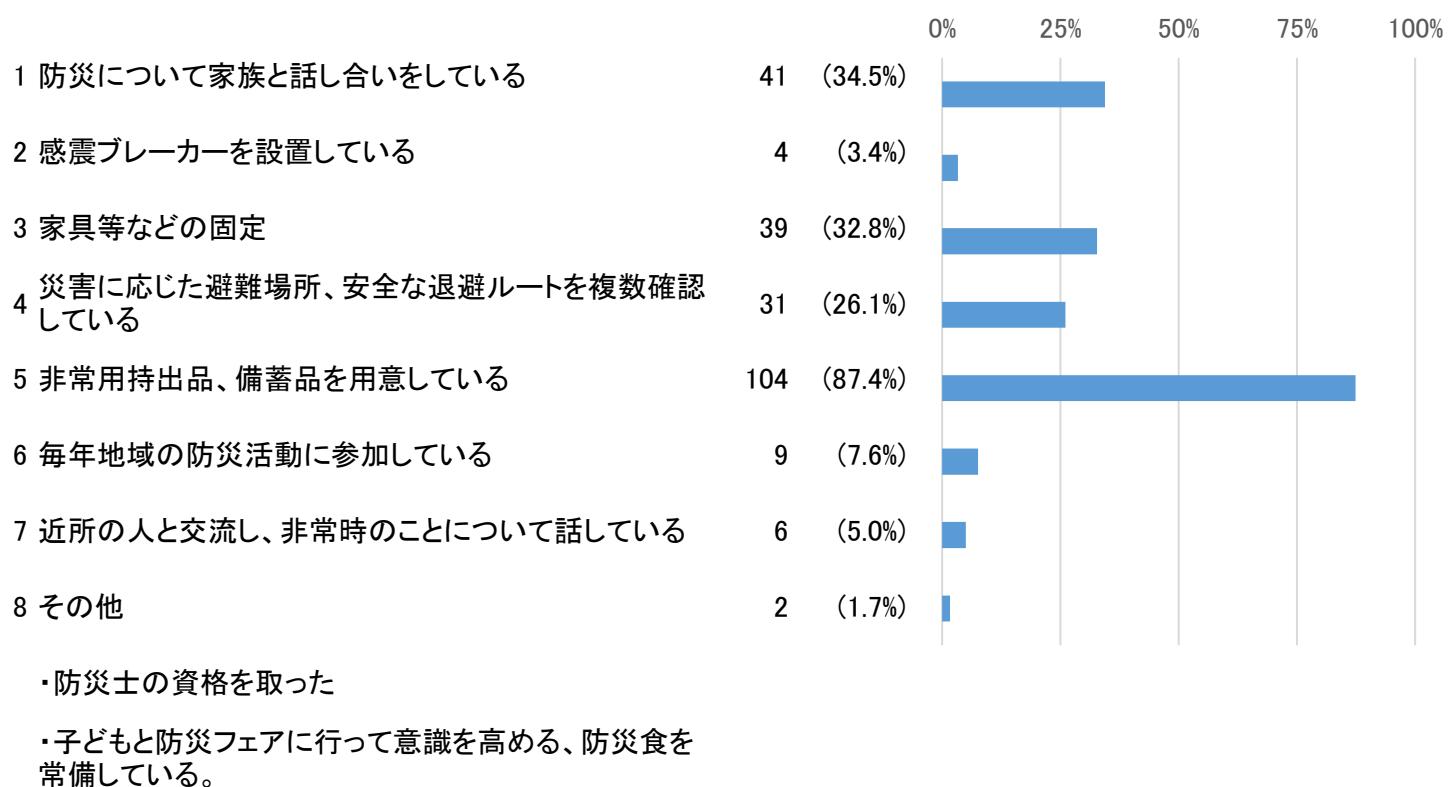
あなたは災害に対して、備えていることはありますか。

1 ある	119	(73.9%)
2 ない	42	(26.1%)



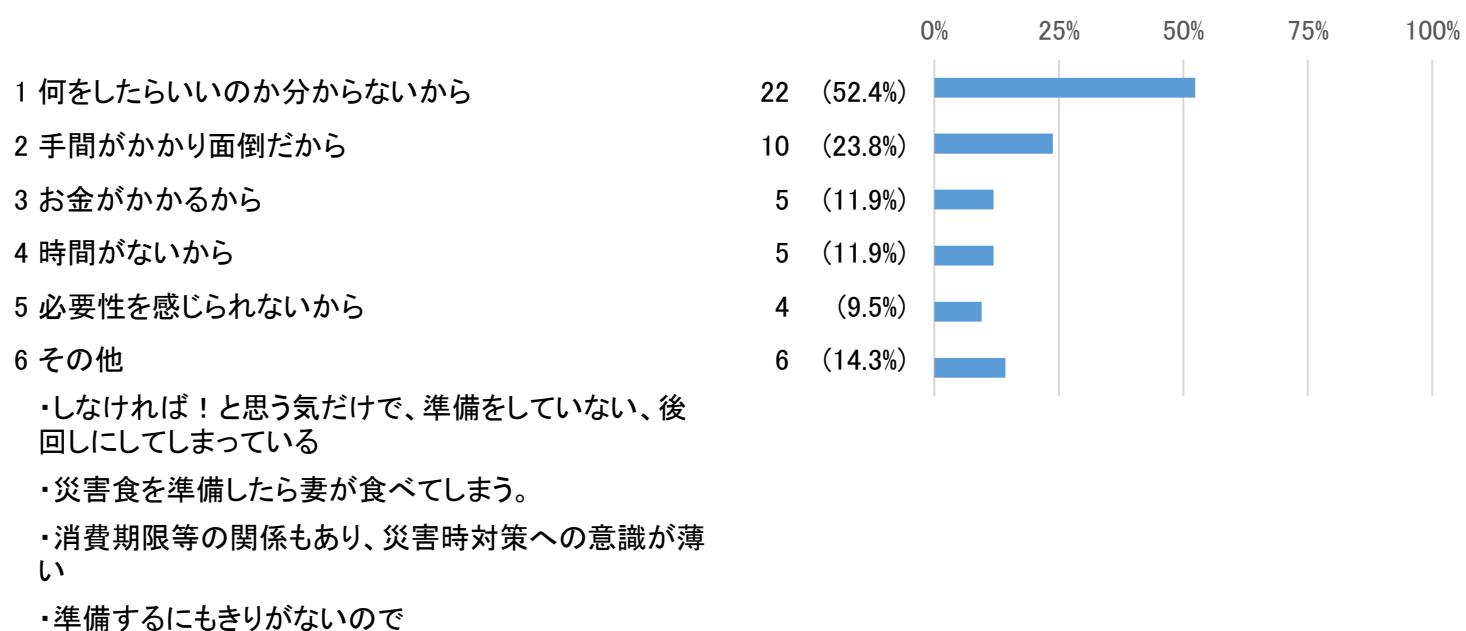
質問9

質問8で「1 ある」と回答された方に伺います。あなたが災害に対して備えていることは何ですか。(複数回答可)



質問10

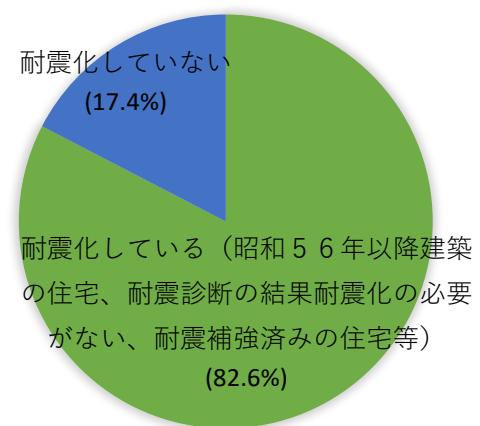
質問8で「2 ない」と回答された方に伺います。あなたが災害に対して備えていない理由は何ですか。(複数回答可)



質問11

あなたの家は耐震化されていますか。

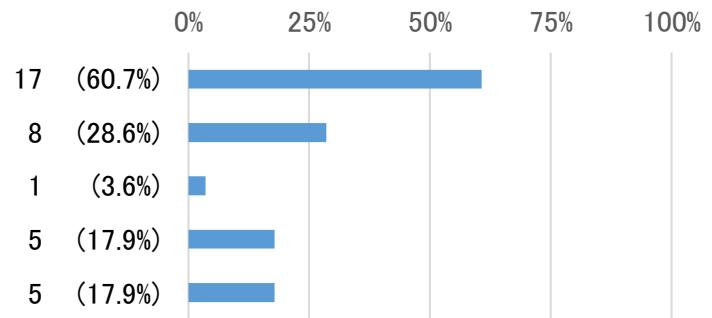
- | | |
|---|-------------|
| 耐震化している(昭和56年以降建築の住宅、耐震診断の結果耐震化の必要がない、耐震補強済みの住宅等) | 133 (82.6%) |
| 2 耐震化していない | 28 (17.4%) |



質問12

質問11で「耐震化していない」と回答された方にお伺いします。耐震化していない理由は何ですか。(複数回答可)

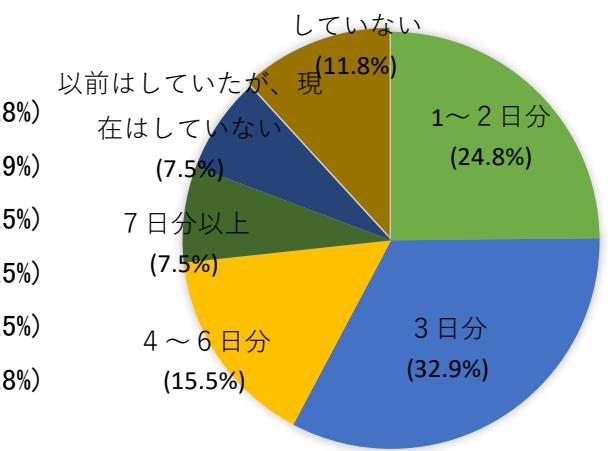
- | | |
|------------------|------------|
| 1 お金がかかるから | 17 (60.7%) |
| 2 何をしたらいいのか分からから | 8 (28.6%) |
| 3 時間がないから | 1 (3.6%) |
| 4 必要性を感じられないから | 5 (17.9%) |
| 5 その他 | 5 (17.9%) |
- 1 お金がかかるから
2 何をしたらいいのか分からから
3 時間がないから
4 必要性を感じられないから
5 その他
- ・調べてもらいたいが木造でないので、調べてもらえるかの確認をしていない
 - ・親名義の為直せない
 - ・借家なのでしていない
 - ・プレハブ建築なので必要ないとリフォーム時に業者に言われた



質問13

普段から非常食や飲料水などを備蓄したり、普段のお買い物の際に少し多くの食料品を買い置きしたりするなど、災害に
対して何日分の備蓄をしていますか。(食料1日 3食、飲料水1日 3リットル)

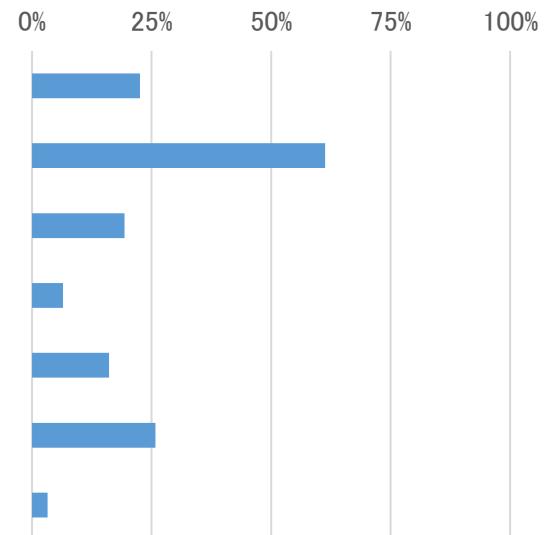
1 1～2日分	40	(24.8%)
2 3日分	53	(32.9%)
3 4～6日分	25	(15.5%)
4 7日分以上	12	(7.5%)
5 以前はしていたが、現在はしていない	12	(7.5%)
6 していない	19	(11.8%)



質問14

質問13で「5 以前はしていたが、現在はしていない」、「6 していない」を回答された方に伺います。食料品(飲料水・非
常食等)を備蓄していない理由は何ですか。(複数回答可)

1 面倒だから	7	(22.6%)
2 必要だとは思っているが、まだできていないから	19	(61.3%)
3 賞味期限や使用期限などの確認や買い直しが大変だから	6	(19.4%)
4 費用がかかるから(高いから)	2	(6.5%)
5 何を準備したら良いかわからないから	5	(16.1%)
6 備蓄を置く場所がないから	8	(25.8%)
7 その他	1	(3.2%)

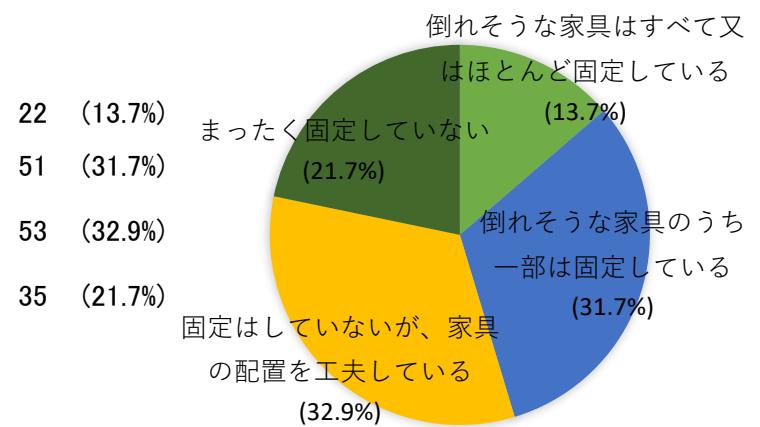


- ・家計の厳しい時に消費してしまうから
- ・大量にストックする場所がないから

質問15

地震が発生した際に、家具が転倒したり移動したりするのを防ぐため、家具の固定を行っていますか。

- | | |
|---------------------------|------------|
| 1 倒れそうな家具はすべて又はほとんど固定している | 22 (13.7%) |
| 2 倒れそうな家具のうち一部は固定している | 51 (31.7%) |
| 3 固定はしていないが、家具の配置を工夫している | 53 (32.9%) |
| 4 まったく固定していない | 35 (21.7%) |



質問16

質問15で「2 倒れそうな家具のうち一部は固定している」、「3 固定はしていないが、家具の配置を工夫している」、「4 全く固定していない」を回答された方に伺います。家具の固定をしていない理由は何ですか。(複数回答可)



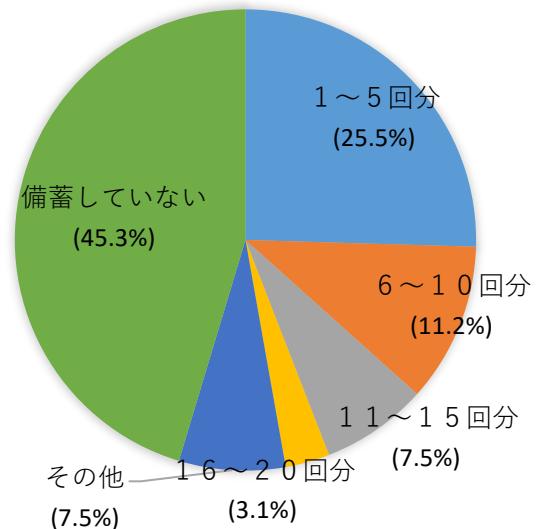
質問17

大災害が発生すると断水や下水道管の破損等により、水洗トイレが使用できなくなることがあります、対策として簡易トイレや携帯トイレといった災害用のトイレを備蓄しておくことが重要です。

簡易トイレとは、段ボールなどでできた、室内に設置できる持ち運びが可能な便座のある組み立て式の小型トイレです。一方、携帯トイレとは、給水シートや凝固剤で水分を安定させる便袋タイプのもので、洋式便器や簡易トイレなどに取り付けて使用するトイレです。

災害用トイレとして携帯トイレを1人当たり何回分備蓄していますか。

1 1～5回分	41 (25.5%)
2 6～10回分	18 (11.2%)
3 11～15回分	12 (7.5%)
4 16～20回分	5 (3.1%)
5 その他	12 (7.5%)
6 備蓄していない	73 (45.3%)

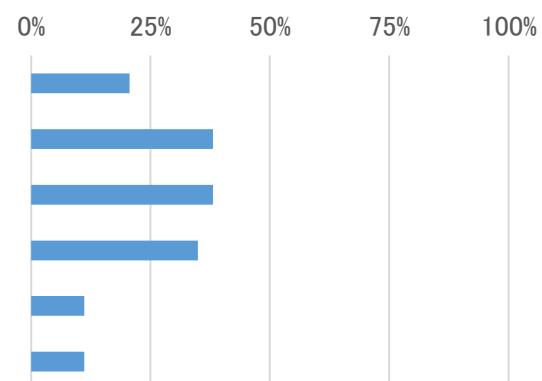


質問18

質問17で「6 備蓄していない」と回答した方にお伺いします。災害用のトイレを備蓄していない理由はなんですか。(複数回答可)

理由	回答数 (割合)
1 備蓄する場所やスペースがないから	13 (20.6%)
2 面倒だから	24 (38.1%)
3 お金がかかるから	24 (38.1%)
4 どこで買えるか分からなかったから	22 (34.9%)
5 災害用のトイレ自体を知らなかったから	7 (11.1%)
6 その他	7 (11.1%)

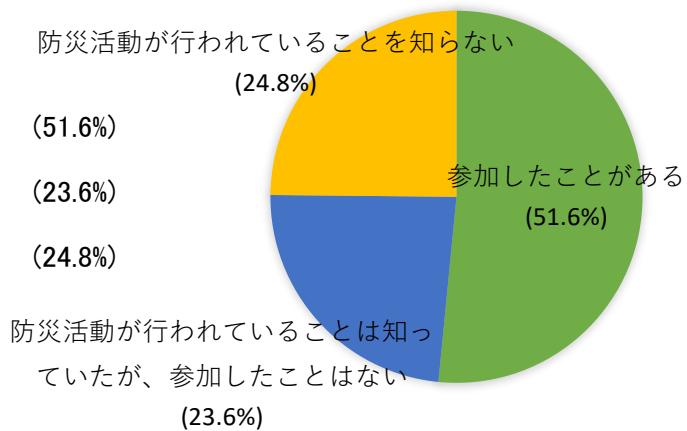
・親のために用意していた介護用トイレがあるから
・意識が弱い
・用意しようと思っているがまだしていなかった
・固まる猫砂があるので、いざという時はそれで代用できるのではと考えているため
・来年あたりに購入しようと思っている
・持っていたが劣化した。段ボール箱とビニール袋などあるもので対応。



質問19

あなたは防災活動(安否確認訓練や避難所運営訓練、消火訓練やAED操作訓練等の防災訓練、防災講習や講演会、地域における防災に関する話し合いや検討、防災イベント等)に参加したことはありますか。

- | | |
|----------------------------------|------------|
| 1 参加したことがある | 83 (51.6%) |
| 2 防災活動が行われていることは知っていたが、参加したことはない | 38 (23.6%) |
| 3 防災活動が行われていることを知らない | 40 (24.8%) |



質問20

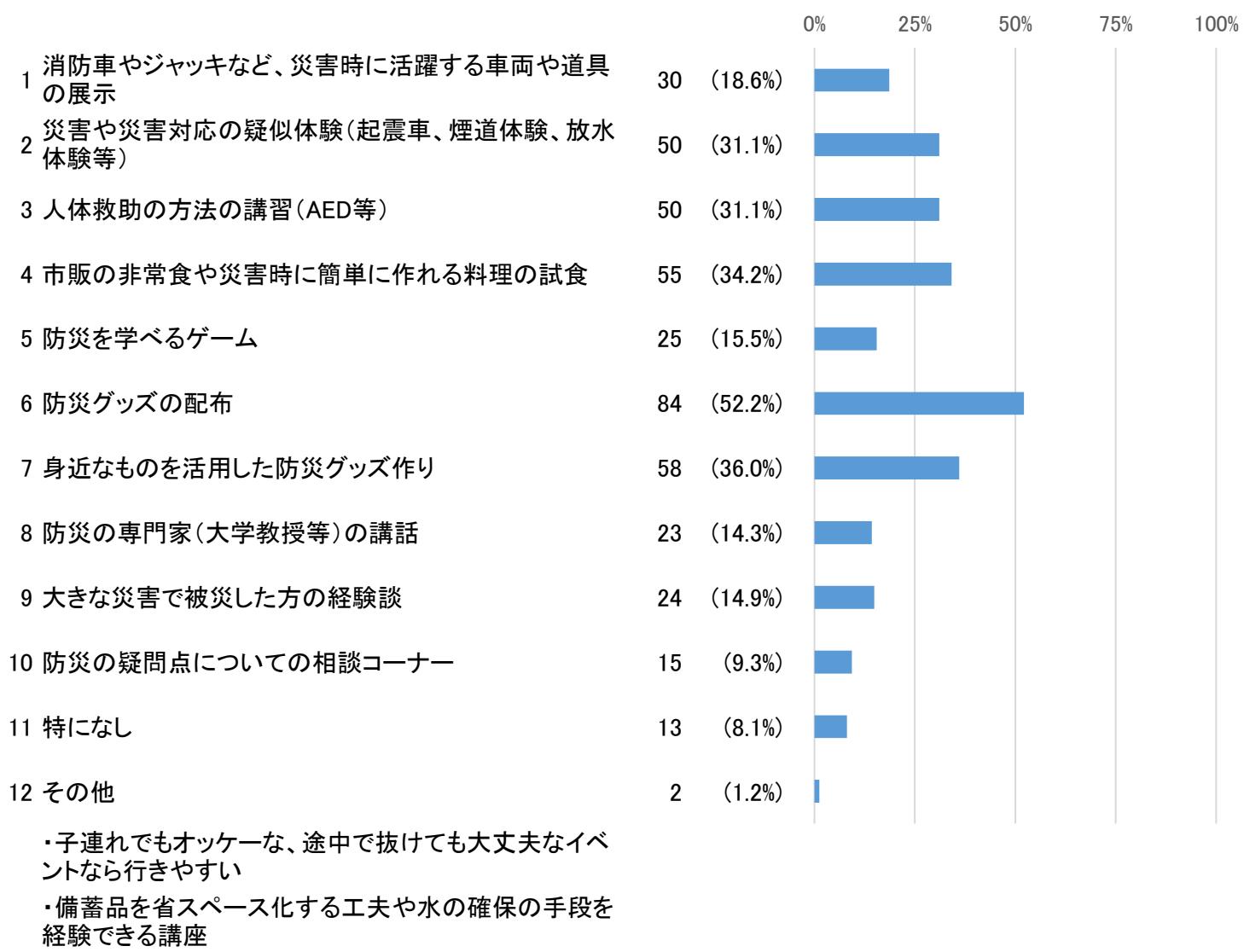
質問19で「2 防災活動が行われていることは知っていたが、参加したことはない」と回答された方にお伺いします。防災活動に参加しなかった理由は何ですか。(複数回答可)

- | | |
|------------------------------|------------|
| 1 内容が形式的であったり、イベント化していたから | 6 (15.8%) |
| 2 具体的な日時・場所・申し込み方法が分からなかったから | 7 (18.4%) |
| 3 会場に行くのが大変だったから | 9 (23.7%) |
| 4 時間的に拘束されると思ったから | 5 (13.2%) |
| 5 忙しいなど時間的に余裕がなかったから | 19 (50.0%) |
| 6 関心・興味がなかったから | 1 (2.6%) |
| 7 その他 | 3 (7.9%) |

- ・子どもがおり、お留守番させれない
- ・職場ではしたことがあるが、地域の防災は土日のことが多く、一才の子を含めた子を連れて参加するには負担のため
- ・何が学べるのかわからないから

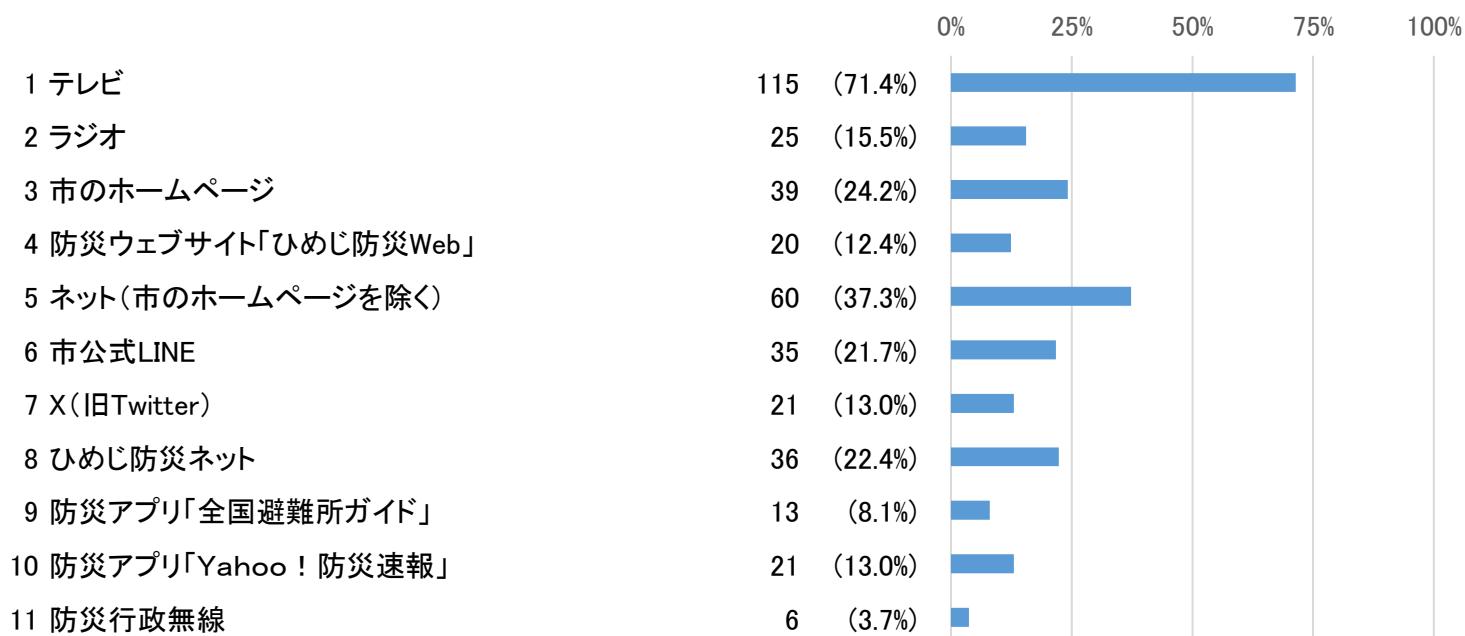
質問21

どのような内容があれば防災活動に参加してみたいと思いますか(複数回答可)



質問22

防災情報をどのように得ていますか。(複数回答可)



質問23

姫路市の防災対策についてご意見・ご提案がありましたら、ご自由にお書きください。

- ・ 防災対策について、ちょっとした内容を毎月の回覧板で回したり、広報ひめじで、身近なもので作る防災グッズや防災アイデアの紹介を定期的にしてほしい。紙ベースだと読みやすい。
- ・ 避難所への消毒薬やマスクなどの備蓄はあるのか、ライフラインの復旧に何日程度かかるのか、災害時の相談所があればいいと思います
- ・ 築年数に関係なく耐震性の補助金を出してもらいたい
- ・ 神戸で震災を経験しているので、姫路の人は災害についての意識が驚くほど低くここは大丈夫と思っている。何度も言っても自分事として捉えないので聞く耳すら持ってもらえない。親子で避難経路の話をするのが当たり前だと思います
- ・ 幅広い年齢層に近くの小学校の体育館などで防災の訓練をしたら良いかなと思います
- ・ 避難所での備蓄品が足りないと思われます。十分な数を確保し、期限が来たら配布する。配布は地域の交番勤務の警察官ほか、民生委員など各家庭の状況を確認する業務を兼ねて各家庭に配布することを検討して頂きたい。
- ・ 家族に要介護者がいるため簡単に避難できないが、障がい者や要介護者への対応は市として考えないのか。例えば市から介護施設に要介護者の受け入れの協力を求めるとか。施設は無償では無理。
- ・ 各自治体の放送システムでの防災情報発信のガイド作成とそれに基づく運用。
- ・ 久しぶりに見たのですが、姫路市のホームページが見やすく、調べやすくなっていました。防災フェアが行われていたのを知りませんでした。日頃から広報や自治会の回覧板など、しっかり見ないといけないと思いました。
- ・ 情報弱者の人に対しての取り組み(中高年、外国人の方、障害者の方など)を増やすことが必要だと感じます。
- ・ 地域特有の想定災害に対する防災対応が必要
- ・ 川の氾濫に備えて対策をしてほしい
- ・ 姫路市から各家庭に簡易トイレ等防災用品の定期配布を。
- ・ 私の地区では、砥堀小学校が避難所になっていますが、市川のそばで土地が低いので、校舎や体育館に避難するまでが河川氾濫時は危険と思われます。
- ・ 避難所での生活が少しでも快適になるようにしてほしい。簡易ベッドの導入など。
- ・ 災害を経験された方のお話を聞いてみて、防災や備えの必要性等のなまの声を聴きたい。
- ・ 防災マップを必ず確認し、保存している。知人からトイレに困ったときいたので、簡易トイレの販売店を紹介して欲しい。
- ・ 地域ごとに細かく避難所や安全な場所を災害の種類ごとに提示してほしい
- ・ よくわからない事が多いので、その対策を講じて欲しい。
- ・ 避難所の学校のキャパが、エリアの世帯数に対して少な過ぎる
- ・ 特に城下町として規制の上に保存された地域では一方通行や袋小路が多く古民家が密集していますが本当に大丈夫なのか心配はしています。
- ・ 簡易トイレ等のグッズ斡旋は有りましたか？
- ・ 自分から調べに行かないと、防災についてよく分からず状況なので、パンフレットのようなものを各自宅もしくはマンションごとに配布して掲示したり、自然と情報が入ってくるようにしてほしい。
- ・ 姫路で開催されている防災フェアが参加しやすく、子どもにも学びになるためありがたく感じている。今後も充実させていってほしいと思う
- ・ 毎年一回は大規模な全市民が参加する防災訓練を実施して欲しい。
- ・ 貸し出しの車椅子は 公民館に備え付けてるのですか
- ・ 住みやすい街 姫路市に相応しい 防災対策を引き続きお願いします。
- ・ 災害に備え、知識と準備をしなければと思います。
- ・ 防災専門家の話を聞く機会を設けてほしい
- ・ 大雨時の河川水位、特に夢前川の情報をリアルタイムで知ることができるシステムを整備していただきたい
- ・ この地域は今まで特に大きな災害もなく誰もがあまり危機意識が無いように感じます。何かあった時のダメージは大きいと思います。
- ・ 空き家が今後増加するので何か方針を策定し火災等への対応をお願いしたい
- ・ 消防講習会の予約枠を拡大して欲しい

- ・姫路市は市の面積も広く、地域によって避難の仕方も違うと思う（避難所への避難、自宅避難等）。地域に合った避難方法を具体的に住民に周知し備える方が良いと思う。
- ・福祉避難所に準ずる、大きな避難所からの避難所が欲しい
- ・姫路の各所に防災コーナーを作ると良いのでは。市役所・学校・公民館・公共施設・広場・公園などに。ジェイアール土山駅南ガーデンプラザ防災施設。
- ・保育園に消防の方がきてくれたり、小さい頃から防災を学べるのはいい対策だと思います。備蓄に関して、家族が多い場合、場所の関係や費用の関係もあり、最低限これくらいみたいな目安が知りたい。
- ・姫路市として災害備蓄用品にどのようなものがあるか、どれくらいの数で、何人が何日もつかを広報紙に記載してほしい。
- ・ブロック塀の倒壊対策に力を入れてほしい。近所にヒビがあるブロック塀があり子供の通学路なのに非常に危険。市に相談したが、持ち主次第と消極的であった。自宅においても撤去したいが費用が高く撤去に踏み切れない
- ・市内に比べて北部地区は対策も手薄に感じています
- ・防災無線が聞こえる場所をもっと増やして欲しいです。
- ・災害が予想されるときにお年寄りの先行避難、特に体育館とかではない宿泊施設の借り上げなどで対応はできないでしょうか？